土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川　江の川水系　高猿川　通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.3	調査位置	広島県安芸高田市吉田町多治比	北緯	34° 40' 51.3589"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 1月 5日～ 令和4年 1月 7日	東経	132° 40' 53.2076"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 270.60m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	6.00m	地盤勾配	47° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1B-58 / エンジン：ヤンマーNFD12 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	269.10	1.50		粘土混じり砂		暗褐	rd3		木根を混入する 細～中砂の砂を主体とする 径2cm以下の礫を少量混入する GL-1.30m付近から花崗岩の風化土状を呈する			13	1.15	3	3	7	13/300							1/5
2	268.00	2.60		花崗岩		黄褐			花崗岩の強風化部、DL級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する 部分的に径3cm以下の礫状で採取されるがハンマー軽打で砕ける			43	1.45 2.15	13	14	16	43/300							
3	266.30	4.30		花崗岩		黄褐灰			DM級岩盤 風化が進行し土砂～礫状コアで採取する 部分的に径5cm以下の岩片状コアで採取されるがハンマー軽打で砕ける 亀裂沿いに軟質となっている			50以上	2.45 3.15 3.33	23	27	50/80	50/180	180						1/6
4												50以上	4.15 4.30	25	25	50/50	50/150	150						
5	264.60	6.00		花崗岩		淡黄褐灰			CL級岩盤 径5cm以下の礫状～岩片状コアで採取される 亀裂沿いに土砂～細礫化する 一部、風化が進行し土砂化する			50以上	5.00 5.05	50/50			50/50	50						1/7
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								